

# 老人ソフトボールの提唱

四月三日の日本経済新聞にこんな記事が出ていました。  
 『本場の米国では「野球は見るのもよいが本来は自分でやるものだ」と、七十五歳以上という老人チームが週三回も試合をやるといふ話題を、テレビで紹介していた。九十歳を越える超ベテラン(?)までいて、「九十五歳になったら現役を退き、あと五年間は審判をやる」と意気込んでいた。』

一回くらい練習試合をやってみてはどうだろう。少し自信がつけば高知市や他の市などに呼びかけて本格的な試合を挑んでもよからう。  
 年がいくと何もかもおっくうになりがちだが、せめてこんな体を使う無邪気な楽しみでもやってみて分を返らせ、晩年を健やかに過ごすことが必要ではないだろうか。どうせは行かなければならぬいかも知れない病院や老人ホームへの道を、少しでも忘れて、また選べる一助になると考えられはしないだろうか。私はせひとも老人チームの結成を呼びかけた。教育委員会の社会教育課の方にも、尽力を頂ければ幸いです。  
 竹島寅吉 (物部)

# 市民のひろば



市の中心部を横切って流れる国分川。目には美しく清い流れのように見えるが、もう半分は死んでいます。  
 なせなら、工業排水、治水土事、農業の流れ込み、家庭からのゴミ、洗剤など、数えればたくさん。原因があるでしょう。  
 私はこの川に住む魚類、貝類、その他いろいろ調べてみました。もう絶滅したと思われる魚や貝が次のようにあります。  
 カマキリ、ボウズゴリ、チチコウ、アナゴ、ササショウ、サエビ、貝類(一種、中類多数、カワモなど)。現在一番この自然を破壊しているのが、冬期にやる治水工事のためのドロ水です。これが一番のようです。私一人がいくらいつても何一つできません。死の川と



(国分・理容業)

# 国分川を守る会を

ならないうちに国分川を守る会でも作って、市民多数の方で国分川を守りましょう。  
 国分川の上流には山田町民による清流を守る会があり、白木谷川にも白木谷川を守る会があります。市役所も、市民の立場に立つて強力に働いてほしいと思います。  
 高村祐行 (国分・理容業)

# 原稿募集

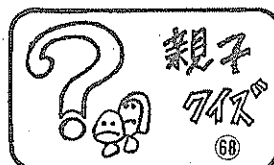
広報なんこくでは、あなたの投稿をお待ちしています。  
 「市民の声」など、市政に対する建設的なご意見、女性のほのぼのとした随想「つくし」、マンガや詩などもお寄せください。  
 また、地域の話題や楽しい行事などがありましたら、はがきや電話でお知らせください。広報から取材にまいります。  
 みなさんの参加をお待ちしています。  
 南国市役所内広報委員会  
 ☎(3)2111 (内線407)

# 広報委員の目



# 「芸芸南国」を

わたしたちの町。南国市は土佐の心のふるさとといわれ、また、自負しているものです。  
 物部川のデルタ地帯であった田村の西見当、それに国府の里に見られる弥生式土器や先住民の住居跡などから、当時の地形や風物とともに農耕、狩猟にいそしんだ人々の社会集落のあり姿をほんうつさせられるものがあります。  
 心のふるさとといわれるゆえんは、はやくから人が住み、そして文化が生まれ、育ってきたばかりではないと考えられます。  
 こうしたゆい緒ある土地に生まれ、あるいははぐくまれる私たちが誇りある郷土を見直し、愛してゆくべきではなからうか……  
 背い空と豊かな緑と水を守り、むかしからの自然をいつまでも大切にしたいものです。  
 とこのころのようなよき土壌のなかから、数多くの文学愛好者や



ご家庭で話し合っって答えてください。答えは今月号の広報に出ています。

# もんだい

市民の声を行政に反映、52年度の市政モニターを募集しています。申込締切日は〇月〇〇日までです。

■しめきり・5月16日(月)

■おくり先・〒783 南国市大垣南国市役所内 広報委員会 親子クイズ係

■答えのハガキには必ずお歳・職業を書いてください。

■しょうひん・特賞1,000円 = 3人 残念賞(記念品) = 10人

# 第67回正解発表

# こたえ

市議会定例会は⑨月⑩日に開会でした。

■特賞・1,000円 = 3人

前田正史さん(稲生)

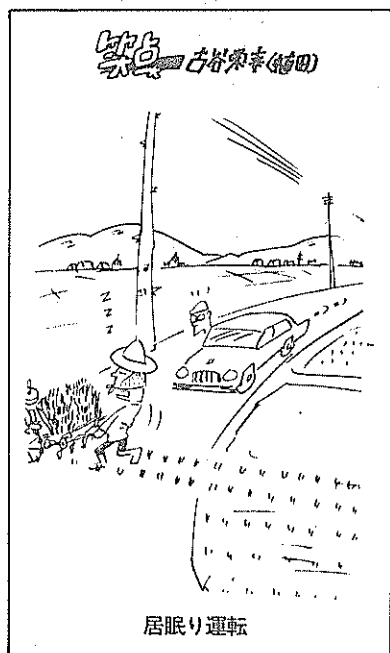
森本恭弘くん(植田)

前田豊子さん(藤原)

■残念賞・記念品 = 10人

堀内敏二(稲生) 浜田たくのり(岡豊町吉田) 北川亀寿(下野田) 西原美代子(仙岩) 伊藤里美(大垣) 佐々木万里(国府) 野中理香子(久礼田) 松村美代子(岡豊町八幡) 高島利代(大垣) 藤原俊樹(里改田)

おめでとうございます。これからもどしどしご応募ください。



居眠り運転

# 詩

海よ、  
 島は広大な海の胸に抱かれて  
 今日も生きて  
 濃青な果てのない大海原  
 魚・さん・海草……  
 海が与えてくれる宝物  
 コバルトブルーの波に

魚等は載れている  
 のどかなのどかな幻想曲を奏でて  
 おお！ どうしたというのだ  
 荒波をたて荒れ狂う海よ！  
 島が島がおびえている  
 私の胸の鼓動が  
 コバルトブルーの中を渡つてゆく  
 海は心の中で働く生き物なのだ  
 森田房子(大垣)

# 南国俳壇

温泉屋根に延びかけたる仮住居  
 湯波へたり水迎ふばかりなり  
 揚雲雀飛機鈴音をそむけをり  
 ベレー帽脱げば住職土佐みづき  
 葬終る家を取り巻く夕暮蛙  
 かけのぼる幼危し花の崖  
 寺の開扉代田面替れ残る  
 耕人の背に山陰ののびてきし  
 はくれんのまわりの樹々の昏れてをり

与田 善信 (波俳句会)  
 岩貞 房子 ( )  
 浜田 波男 ( )  
 大島 新草 (岩村句会)  
 和田ひでみ ( )  
 島崎 洗一 ( )  
 吉川 節 (梵鐘会)  
 高橋 以登 ( )  
 竹内とし子 ( )

# 南国歌壇

春たけて桜花散りしく法華寺  
 若き尼僧の読経さやけし  
 新緑のあふる道も鳥羽着て  
 心重たく治療に通ふ  
 自らを抑へて生くるほかなくて  
 平和というがとくに悲しき

五十路すぎ集い語ればわが世代  
 独り暮しの友多かりき  
 たんじょう日賜られて来し都わす  
 れの其の花のごと年をも忘れん  
 冬しまいもうひと年と膝に当て  
 繕う妻の細き腕わびし

永田 北村千鶴  
 大浦 上東佐吉  
 永田 吉田 峯  
 下野田 徳久まさみ

西島 岡林きよ  
 立田 北村幸江

# 夏木緑泉

関心をもつ人たちが育っています。しかしながらこうした人たちの広場が南国市にないのは残念に思います。  
 香美郡には「芸芸香美」が印刷業者の好意によって生まれ、いまその第二号が発行されようとしています。また土佐市には「芸芸土佐」が愛好者の人々のたゆまない努力によってつくられるなど、郷土文化の発展のために活動されていますが、むかしから文化の展られた南国市にもこうした郷土の総合文集が生まれ育つてもよきというならぬと考えられます。と、いつてならぬかの呼びかけをし、推進する人たちが限られてくるものではないのです。さいわい文化を愛する人たちの集まりである文化推進協議会が南国市にあり、文化祭などを開くなどの活動していますが、郷土文化の向上のためにも、芸芸に興味をもつた人たちのためにも、総合文集をつくり、市民の広場とするようなことはどうだろうか……

